



8基の大型乾燥炉が稼働する本社

一般塗装から特殊塗装まで幅広く対応 ニーズにあわせて高品質に

丸山塗装工業 株式会社

事業内容と沿革

人材と設備のバランスを整え 他社との差別化を図る

主たる事業は電気機器、理化学機械、大型工作機械などの外装の塗装業務。昭和46年の創業当初から「お客様優先」をモットーに、企業から持ち込まれる「単品」の製品への塗装を手がける。何千種とある塗料の中から一つひとつの製品に対し最適な塗料や塗装の手法を提案し「短納期」、「高品質」という付加価値を付けて返す独自のシステムを確立してきた。塗装方法は、メラミン焼き付け・ウレタン・粉体塗装などを取り扱う。

他との差別化を図るため、量産品ではなく単品製品の塗装にこだわる。大口の顧客1社に頼るのではなく、きちんとした交渉の下、できるだけ多くの企業の仕事を受ける。今では取引企業は400社を超え、月に平均200社程度の顧客をもつ。多くの企業ニーズ、他品種に対応するため、設備投資と人材育成には特に力を入れる。平成18年には関西地域で最大規模の熱風式乾燥炉を完成。新工場も積極的に投資し、平成22年には京都、平成28年には桑才工場（大阪府門真市）を新設した。熟練の職人を管理職に引き上げ、20代の若い人材を工場長に抜擢するなど思い切った人事戦略で、社員の積極性を引き出す。平成24年には本社屋を新しくしたのをきっかけに、24時間体制を導入、さらに多くの注文を受けられる体制に整えた。

強み

特殊な一品モノを専門に 高付加価値を付けて納品

同社が現在の規模に成長してきた理由の1つに、家電製品を製造するための大型工作機械の塗装、中でも特殊な一品モノの塗装を手がけたことにある。日々大型化していくテレビなどの家電製品にともない、製造機械も大型化していく。旧式の乾燥炉では対処できなくなることを見込み、設備投資を続けた。関西最大規模を誇る大型乾燥炉をはじめ、大型天井走行クレーン、クリーンルームなども設置し、大きく重量のある製品に対してもスピーディかつ繊細な塗装が可能になった。

また多くのクライアントの依頼に対応できるよう、工場は府内5工場に加え、京都にも新設した。自社トラックも10台保有し、素早く納品できる体制を整えた。作業は2交代制で24時間対応を採用。職人の残業が減り、作業効率も上がった。

人材や資金などさまざまな問題は多いがこのスタンスは変えない。量産品ではなく、一品一品全て性質が違う依頼品に対して、職人の技術と知識をもって最適な下処理、塗装方法、乾燥環境などを選択し、付加価値を加えて納品する。

これらの設備や人材、技術を駆使し「高品質」かつ「短納期」で多くの製品を手がけるシステムを確立したことが、同社の強みにつながっている。



本社 大型乾燥炉



京都工場 クリーンルーム内



桑才工場 外観



桑才工場 作業風景

- 企画・提案
- 試作・受託
- 短納期対応
- 多品種少量
- 量産対応
- コスト相談
- オンラインワン
- 海外対応

カドマイスターの取り組み

設備投資と徹底した品質管理

同社はH3,800×D4,000×W7,000の乾燥炉を含め、10基の大型乾燥炉を保有するなど、関西トップクラスの設備と工場規模を誇る。依頼品は大きさ、素材、ロットなど全て違うため、毎日のミーティングや現場で確認する申し送りノートを作成するなど情報共有の体制を整え、一品一品良質な状態で確実に仕上げる生産・品質管理体制を整えている。24時間対応や、10台保有する自社トラックでの納品など、短納期を可能にするシステムも確立している。

信頼しあえる職場作りを

「人材あつての企業」と謳うほど、人材育成や管理体制には力を入れる。熟練の職人から若手への技術指導はもちろん、外部から講師を招き、5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）活動を取り入れた。また一般社員から管理職まで、意見の通る風通しの良い環境を作ろうと、前向きな意見は全て社長が聞き、全員で判断する。また、社内外においてコミュニケーションを円滑にするため、年1回の「体験型社員旅行」や野球、サッカーチームでの活動なども大切にしている。

受けた依頼は柔軟に対応 短納期と高品質で選ばれる企業に



代表取締役社長
丸山 紘邦さん

「数ある同業者の中から選ばれる企業にするためにどうしたら良いか、常にその条件を考えています。大切にしているのが「納期を必ず守る」こと。小ロット、大型の機械、著しく短納期の依頼でもNOとは言いません。お客様が持ち込む一つひとつの製品は全て違い、もの数だけニーズもあります。あらゆるニーズに対応するために必要な「人材育成」、「技術力」、「設備投資」を駆使し「納期」のみにとどまらず、さらに「高品質」を約束したサービスを提供しています。選ばれる理由は「依頼したことがきちんとできている」からだ、と分析しています。

主な事業内容

メラミン焼付塗装、工作機械・金属ケース・建築金物の塗装全般

主な取引先（納入先）

関西の大手電機メーカー関連企業

【住 所】〒571-0045 大阪府門真市殿島町14-13
【TEL】06-6909-8161
【FAX】06-6909-3876
【創 業】昭和46年4月【設 立】昭和56年4月
【資本金】1,000万円【従業員】100名

今後の展開

設備投資と人事改革で 変化し続ける会社へ

これからの同社を担う若手を育成するため、工場新設や人事改革を引き続き行う。丸山紘邦社長が就任後、最初におこなった人事が、ベテランの2名の職人を管理職に引き上げたことだ。同社では早ければ16歳から現場で就業し、20代で技術が身につけてくる。しかし任せられる業務が変わらなかつたら、モチベーションが維持できず、退職に至るケースも多い。そのため、仕事量を増やし工場を新設する際には「上に行きたい」という意欲ある若手を工場長に抜擢し、管理や人材育成など、工場業務全てを任せようという人事を行う。平成22年に新設した京都工場に当時28歳の工場長を抜擢したように、今後も若手に可能性の場を提供する。また製造業の悪いところは「風通しの悪い環境」と考え、月1で責任者を除いた一般社員と社長との会議を開いている。

職場環境を変えると企業も変わる。これまでは2-3年に一度の割合で工場を新設しており、今後も設備や人材に投資していく。現在は名古屋工場の進出も計画している。

<http://www.maruyama-tosou.co.jp/>

